

組立・施工説明書

ゆき盛くんⅢ 基本セット（2 台用）



・鼻隠しを変更しました。

《お願い》

商品の組み立て、施工に従事される方を対象とした説明書です。
商品を長く安全にお使いいただくための、商品の組み立て方法、施工方法をまとめたものです。本説明書をよくお読みいただき、安全に正しく組み立て、施工を行ってください。

はじめにお読みください

このたびは、本商品をご採用いただき、誠にありがとうございます。

- 本説明書は「ゆき盛くんⅢ 基本セット（2台用）」の組み立て、施工について説明しています。
- 本説明書は専門知識を有する業者様向けの内容となっております。
誤った方法で作業を行うと、不具合につながるおそれがあります。
作業には危険が伴いますので、専門知識を有する業者様が行ってください。
- 本説明書は、必ず組み立て、施工される方にお渡しください。
お施主様向け取扱説明書は、必ずお施主様にお渡しください。

本説明書内の表記

警告／注意／お願い

- 商品の組み立て、施工をしていただくうえで、人身事故や物的損害を未然に防止するため、守っていただきたいこととして、下記のような警告表記をしています。内容をよくご理解のうえ、商品の組み立て、施工を行ってください。

表 記	意 味
 警 告	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される
 注 意	製品の取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷を負うかまたは物的損害が生じることが想定される
お 願 い	製品の取り扱いを誤った場合、人身への危害と財産への損害には至らないが、製品自体の損傷や不具合が生じられると思われる場合や、操作・使用・お手入れ方法などの注意喚起情報

その他の表記

表 記	意 味
	商品や作業の変更点
	作業するうえで必要な情報
	知っておくと便利な情報
	必ずシーリングをする箇所
	電動ドライバーの使用禁止
	電気工事士の資格が必要な作業

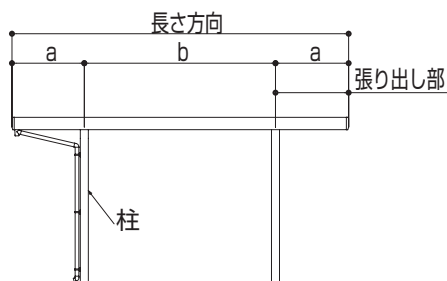
- 一部を除き、本説明書内の単位は「mm」で示しています。

もくじ	P.1
安全にお取り扱いいただくために	P.2
作業前の確認	P.4
同梱一覧 ◀改訂	P.4
折板詳細	P.6
全体構成図 ◀改訂	P.7
施工手順 ◀改訂	P.8
基礎工事の準備	P.9
墨出し ◀改訂	P.9
基礎の掘削	P.10
本体フレームの施工	P.11
柱の切断・加工 ◀改訂	P.11
梁の部品付け	P.12
柱の施工	P.14
柱・梁の取り付け	P.15
柱の仮固定	P.15
基礎工事	P.16
柱の水抜き穴加工	P.16
柱の寸法確認	P.16
基礎コンクリートの打ち込み	P.17
屋根部の施工	P.18
折板の加工	P.18
鼻隠し（側面）の加工 ◀改訂	P.19
鼻隠し（水下側）の部品付け ◀改訂	P.20
折板の取り付け	P.21
鼻隠し（側面）の取り付け ◀改訂	P.22
鼻隠し（水上側）の取り付け ◀改訂	P.23
鼻隠し（水下側）の取り付け ◀改訂	P.25
鼻隠し（側面）の固定 ◀改訂	P.27
コーナーキャップの取り付け ◀改訂	P.28
雨樋の施工	P.29
寸法図	P.30
寸法図 ◀改訂	P.30

安全にお取り扱いいただくために

⚠ 注意

- 本説明書記載以外の加工、組み立て、施工など、改造を行わないでください。
性能に影響を及ぼし、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、必ず同梱のねじを使用してください。
異なるねじを使用すると、ねじの折れ、強度低下、ゆるみなどにより、部材、部品の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 組み立て、施工の際は、同梱のねじをまっすぐに最後まで締め付けてください。
締め付け不良は部材、部品の落下や漏水など、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- ボルトは、適正トルクで締め付けてください。締め付けが不十分な場合、強度低下や脱落により思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
締め付けトルクは以下を目安に設定してください。
M8ボルト：13N・m (130kgf・cm)
M10ボルト：24N・m (240kgf・cm)
- 商品が破損、変形およびキズがつかないように、取り扱いには十分注意してください。
破損、変形した商品を取り付けた場合、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- 切り詰めを行う際は、おおむね規格サイズの長さ比率（a:b:a）になる位置に柱移動を行ってください。
奥行方向張り出し部のみ切り詰めると、カーポート屋根部の荷重バランスが崩れ、積雪や暴風時に商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



- 給湯器や暖房機などの熱排気が商品内にこもるような場所に施工しないでください。
排気による中毒や塗装劣化・ハクリのおそれがあります。
- シーリングは説明書に従って必ず行ってください。
漏水につながるおそれがあります。

お願い

- 本商品の耐積雪性能は
積雪 50cmタイプ：1500N/m²（153kgf/m²）（積雪量に換算すると 50cm相当）です。
商品に記載されている積雪量を超える前に雪おろしが必要であることを施主様に説明してください。
- 商品の屋根の上にのらないでください。
商品が破損したり、転落によりけがをしたりするおそれがあります。
- ねじに塗布されているコーティング剤が皮膚に付着した場合は、石けんでよく洗ってください。
皮膚に直接接触することにより、かぶれが起こるおそれがあります。
口に入ってしまった場合は、すぐに吐き出し医師の診断を受けてください。
- 建物の屋根雪が直接落ちる場所には、取り付けないでください。
商品が破損し思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
- シーラーなどの水密部品は説明書に従って組み立ててください。
組み立て不良は漏水につながるおそれがあります。
- 清掃が必要な場合は、中性洗剤（1～2%の水溶液）を使用してください。
（アクリル・ポリカーボネート板は0.5%の水溶液）
酸・アルカリ・塩素系の洗剤液や有機溶剤を使用すると、商品の腐食につながるおそれがあります。
- 塩素系薬品（次亜塩素酸ナトリウムを含む漂白剤・カビ取り剤など）を使用した場合、必ず清潔な布や紙で水拭きしてください。
表面に付着したまま放置されると、変色するおそれがあります。



- 作業を行う際は、作業に適した服装で、適切な保護具（保護帽、安全帯、目・耳・手・足の保護具）を着用し、安全に作業を行ってください。
- 作業場所の整理整頓を行うとともに、照度などの安全作業ができる作業環境の確保を行ってください。
- 高所作業では、安全確保や倒壊防止などの安全作業のための必要な措置を行ってください。
- 商品の運搬、組み立て、取り付けは相応の人数で行ってください。
- 商品の保管は、必ず室内でしてください。
やむを得ず屋外に置く場合は、湿気の無い日陰で平らな場所に平置きにして、防水シートをかけてください。
- 施工前に同梱されている部材および部品を確認してください。
- 重量物（25kg超）の施工に関しては、必ず小型移動式クレーンなど適切な揚重機械を用いて施工してください。

■ 1本あたり25kg超になる部材

		間口呼称	梁重量 (kg)	柱重量 (kg)
1500 タイプ	4本柱	48	32	—
		55	36	—
		60	40	—

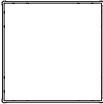
• 「—」は部材重量が25kg以下の場合を示します。

作業前の確認

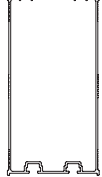
改訂

同梱一覧

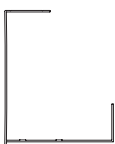
■柱

姿 図	
品 名	柱
品 番	3K-83370
MCD-(DS)A24A#	2

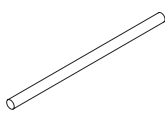
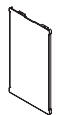
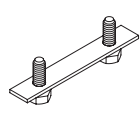
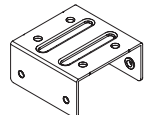
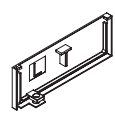
■梁

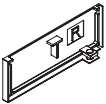
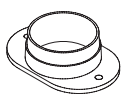
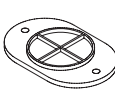
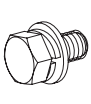
姿 図	
品 名	梁
品 番	3K-73164
MCD-(DS)B##BV	1
備 考	260見付

■鼻隠し

姿 図				
品 名	鼻隠し	鼻隠し	鼻隠し	たて樋
品 番	3K-73447	3K-73448	3K-73449	2K-38903
MCD-(DS)C##V2	2	—	—	—
MCD-(DS)D##V2	—	1	1	1 (L=3000)
備 考	側面用	水上側用	水下側用	—

■部品

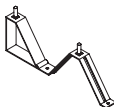
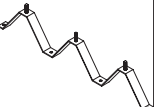
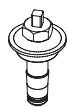
姿 図						
品 名	柱アンカー	梁キャップ	コーナーキャップ	柱・梁連結ボルト	柱・梁連結金具	雨樋枠キャップ
品 番	K-11711	3K-33432	3K-33777	7K-10870	7K-10871	3K-33778
MCD-(DS)EB4AAV2	4	4	4	8	4	1
備 考	—	260見付	—	—	3K-83370用	L

姿 図						
品 名	雨樋枠キャップ	ド레인	ゴミ出しエルボ	雨樋セット	穴隠し	座金組込六角ボルト (M10×20)
品 番	3K-34007	K-36979	2K-38866	EA-F1N	K-36980	3K-18992
MCD-(DS)EB4AAV2	1	1	1	1	1	16
備 考	R	—	—	—	—	柱・梁連結用

姿 図						
品 名	六角ナット (M10用)	スプリング ワッシャー (M10用)	なべドリルねじ ($\phi 4 \times 19$) (コーティング剤塗布)	なべドリルねじ ($\phi 4 \times 13$) (コーティング剤塗布)	トラスタッピンねじ ($\phi 4 \times 19$) (コーティング剤塗布)	なべドリルねじ ($\phi 4 \times 19$) (コーティング剤塗布)
品 番	N-M10	SW-10	DN-4019B-SC	4K-15670-SC	ET-5010-SC	DN-4019B-SC
MCD-(DS)EB4AAV2	16	16	26	14	4	6
備 考	柱・梁連結金具 取り付け用	柱・梁連結金具 取り付け用	鼻隠し (水上・水下側)・ コーナーキャップ 取り付け用	鼻隠し (側面側) 取り付け用	鼻隠し 取り付け用	雨樋セット用 ねじ

姿 図			—
品 名	なべドリルねじ ($\phi 4 \times 19$) (コーティング剤塗布)	トラスタッピンねじ ($\phi 5 \times 10$) (コーティング剤塗布)	組立・施工 説明書
品 番	DN-4019B-SC	ET-5010-SC	—
MCD-(DS)EB4AAV2	8	4	1
備 考	梁キャップ 取り付け用	ドレイン・穴隠し 取り付け用	—

■タイトフレーム

姿 図							
品 名	タイト フレーム	タイト フレーム	折板取付 ナット	ルーフボルト	ボルト キャップ	ボルト キャップ	小トラス タッピンねじ ($\phi 5 \times 10$)
品 番	4K-19023 [7K-10798]	4K-19024 [7K-10799]	4K-19025	5K-10043	3K-33349	2K-35365	EM-5010
MCD-(DS)F48-2	4	14	50	7	50	7	64
MCD-(DS)F55-2	4	16	56	8	56	8	72
MCD-(DS)F60-2	4	18	62	9	62	9	80
備 考	端部	中間部	—	—	タイト フレーム用	ルーフ ボルト用	タイトフレーム 取り付け用

・[]はB7色の場合を示します。

■たて樋

姿 図	
品 名	たて樋
品 番	2K-38903
MCD-(DS)QT30	1 (L=3000)
MCD-(DS)QT13	1 (L=1300)

折板詳細



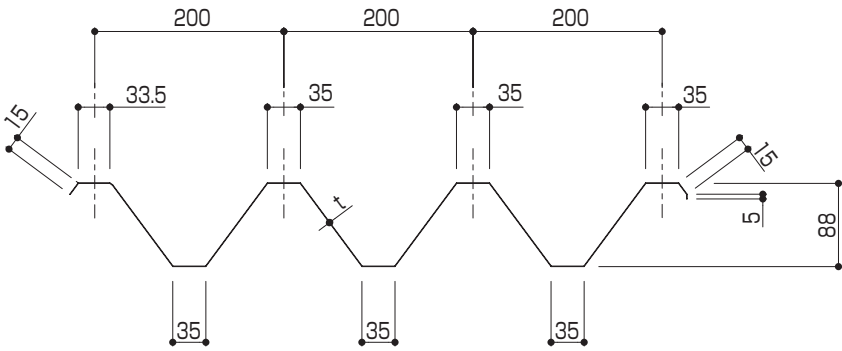
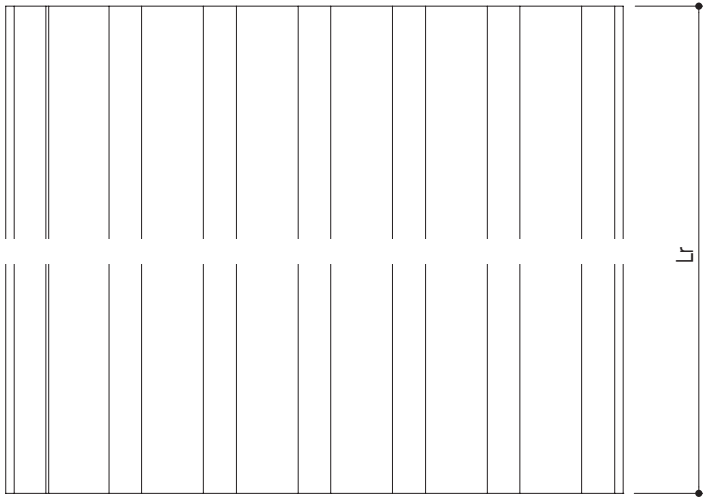
・折板には、左右の向きがあります。

■折板(スチール)

奥行呼称	間口呼称	折板長さ Lr	t	枚数
50	48	4958	0.5	8
	55		0.5	9
	60		0.5	10

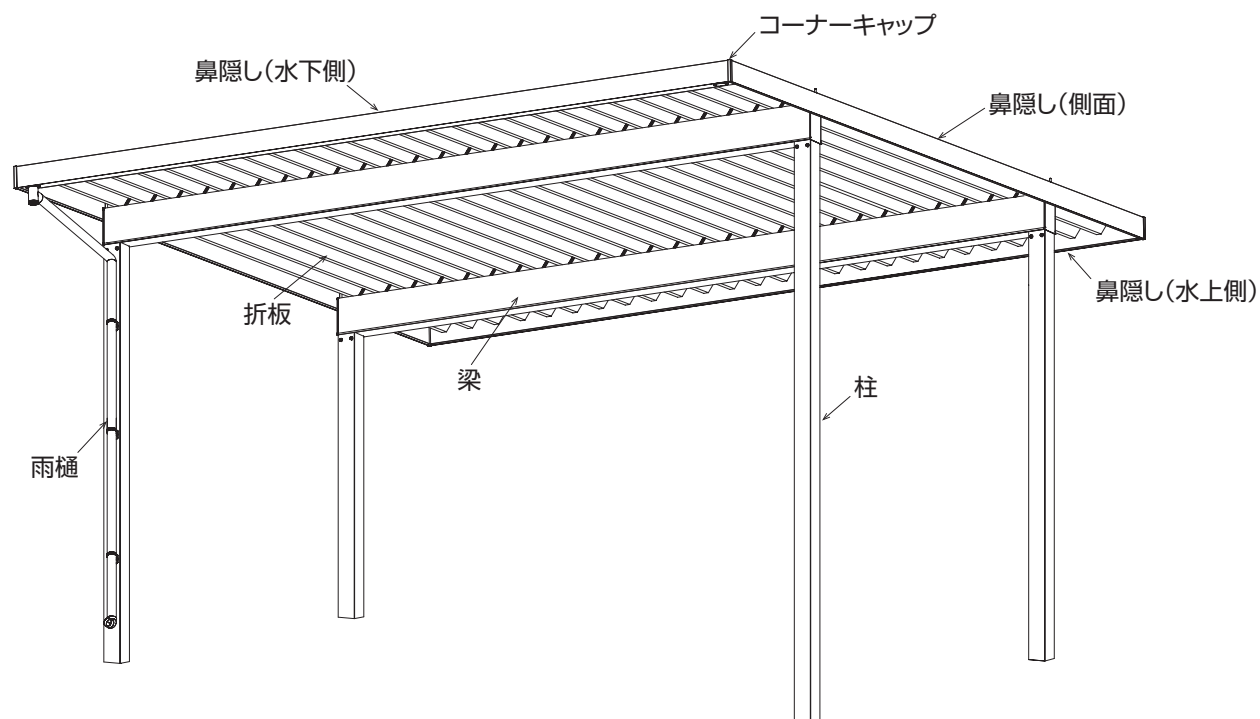
■折板重量の目安

折板長さ Lr	t	重量(kg)
4958	0.5	19

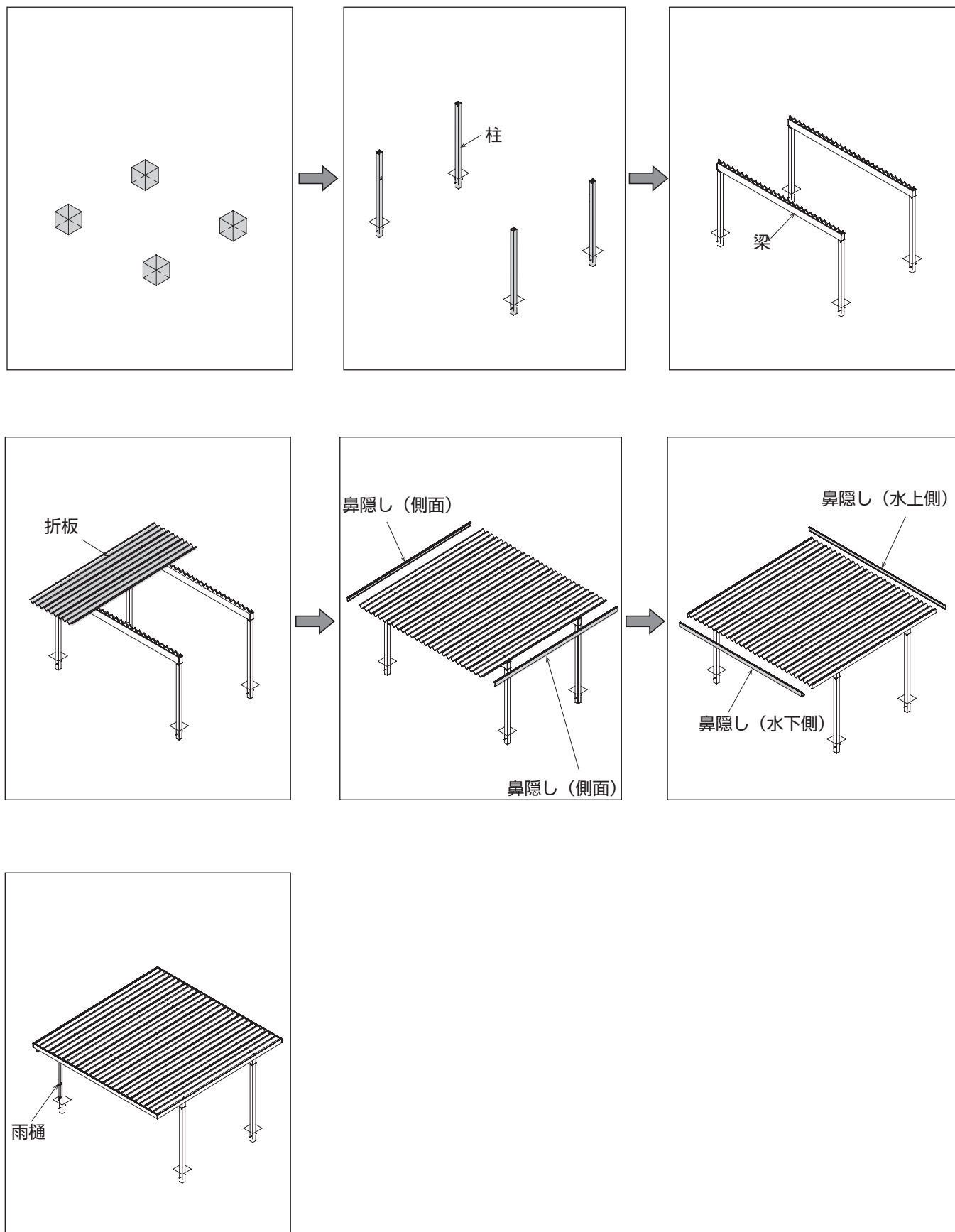




全体構成図



施工手順



基礎工事の準備

⚠ 注意

- 給排水配管、ガス管などの地下埋設物に干渉しないよう掘削時に注意してください。
思わぬ事故につながるおそれがあります。
- 傾斜地に設置する場合は、低い場所の柱の埋め込み深さを確保してください。
商品が倒壊するおそれがあります。
- 基礎底部には割栗石、砂利または碎石を敷き、アルミ柱内に入った水や結露水が地盤に浸透するようにしてください。
水が留まると柱の凍結破損や異常腐食につながるおそれがあります。
- 基礎寸法は指定寸法以上で施工してください。
地盤の支持力が得られず、商品の沈下や風による転倒で、外壁などの損傷につながるおそれがあります。
- 基礎の根入れ深さは凍結深度より深くしてください。
地面の水分が凍る過程で商品が押し上げられ、外壁などの損傷につながるおそれがあります。

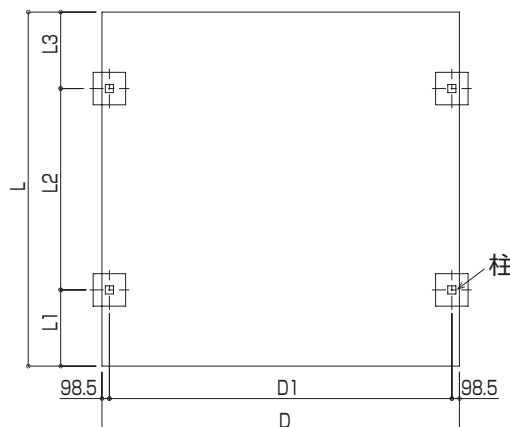
改訂

墨出し

1 墨出しを行ってください。

水上側

水下側



間口呼称	奥行呼称	D	D1	L	L1	L2	L3
48	50	4870	4673	5000	1000	3000	1000
55		5470	5273				
60		6070	5873				

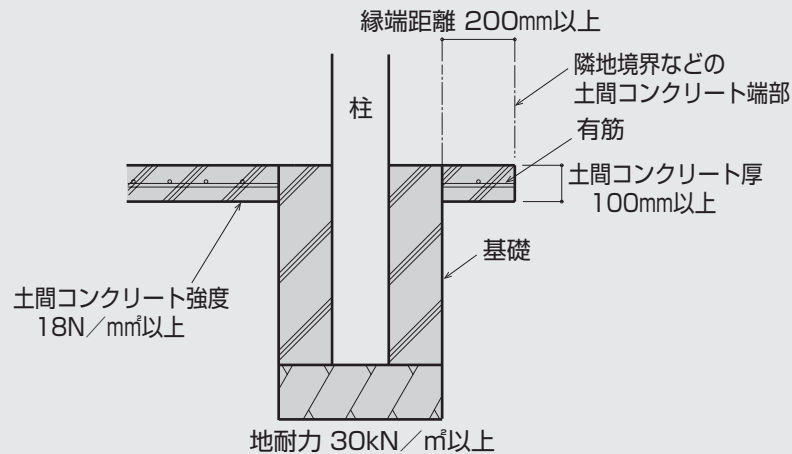
基礎の掘削

- チェック!
- 基礎は次の2種類があります。「独立基礎」「土間コンクリート考慮基礎」

1 基礎寸法表、寸法図を参考に、柱の基礎穴をあけてください。
「寸法図（→P.30）参照」

- チェック!
- 「独立基礎」と「土間コンクリート考慮基礎」で基礎サイズが異なります。
 - 「土間コンクリート考慮基礎」の場合 下記条件を満たす必要があります。

●土間コンクリート条件

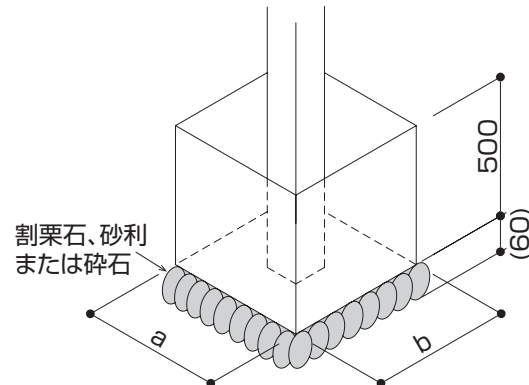


■基礎寸法表

耐積雪強度	柱本数	間口呼称	奥行呼称	独立基礎			土間コンクリート考慮基礎		
				地耐力[kN/m ²]			地耐力[kN/m ²]		
				30	50	100	30	50	100
				a・b	a・b	a・b	a・b	a・b	a・b
1500	4本柱	48	50	890	790	500	500	500	500
		55	50	940	840	540	530	530	530
		60	50	980	890	590	560	560	560

- 2 水勾配を付けるため、各穴の深さを調整してください。「柱の切断・加工（→P.11）参照」
- 3 基礎部に割栗石、砂利または碎石を敷き均し、突き固めてください。

- チェック!
- 柱下部にプレートなどを配置して柱高さを調整する場合は、必ず水が抜けるように排水穴を設けてください。



本体フレームの施工



柱の切断・加工

1 柱位置にあわせて、柱の切断寸法（A）を確認してください。（埋め込み深さ500mmの場合）

側面から見た柱本数	姿図	奥行 呼称	高さ 呼称	柱高さ		柱の切断寸法（A）	
				柱1	柱2	柱1	柱2
2本		50	23	2303	2403	150	50

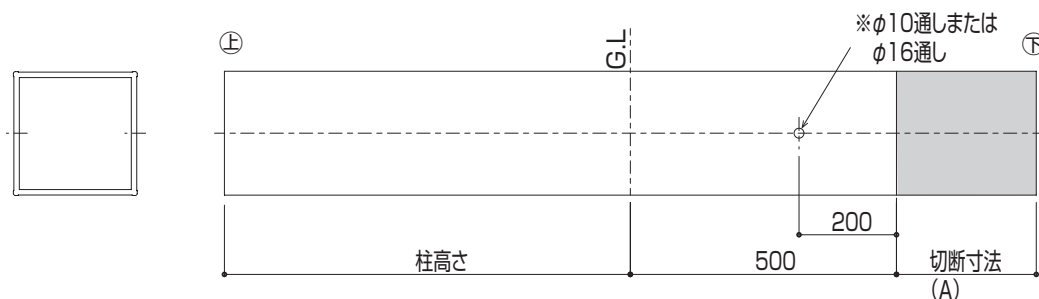
2 柱を切断してください。



- ・埋め込み深さは、500mm以上を確保してください。
- ・柱を切断しない場合は、柱の埋め込みを深くしてください。
- ・柱を移動した場合は、移動量にあわせて切断寸法を調整してください。

柱を切断し、アンカー用の穴を失った場合

① 柱に穴加工($\phi 10$ 通しまたは $\phi 16$ 通し)してください。



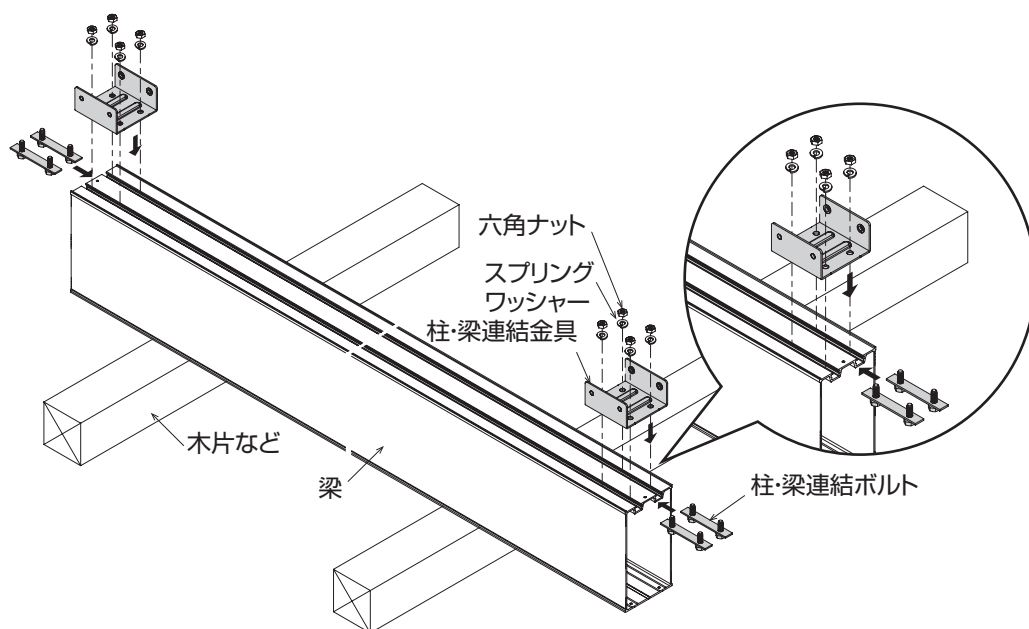
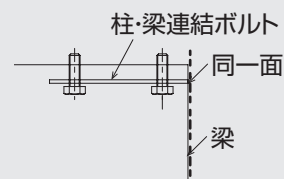
※失ったアンカー用の穴と同じ穴径で加工してください。
柱の肉厚によって穴径が異なります。

梁の部品付け

1 柱・梁連結ボルトを挿入し、柱・梁連結金具を梁に取り付けてください。

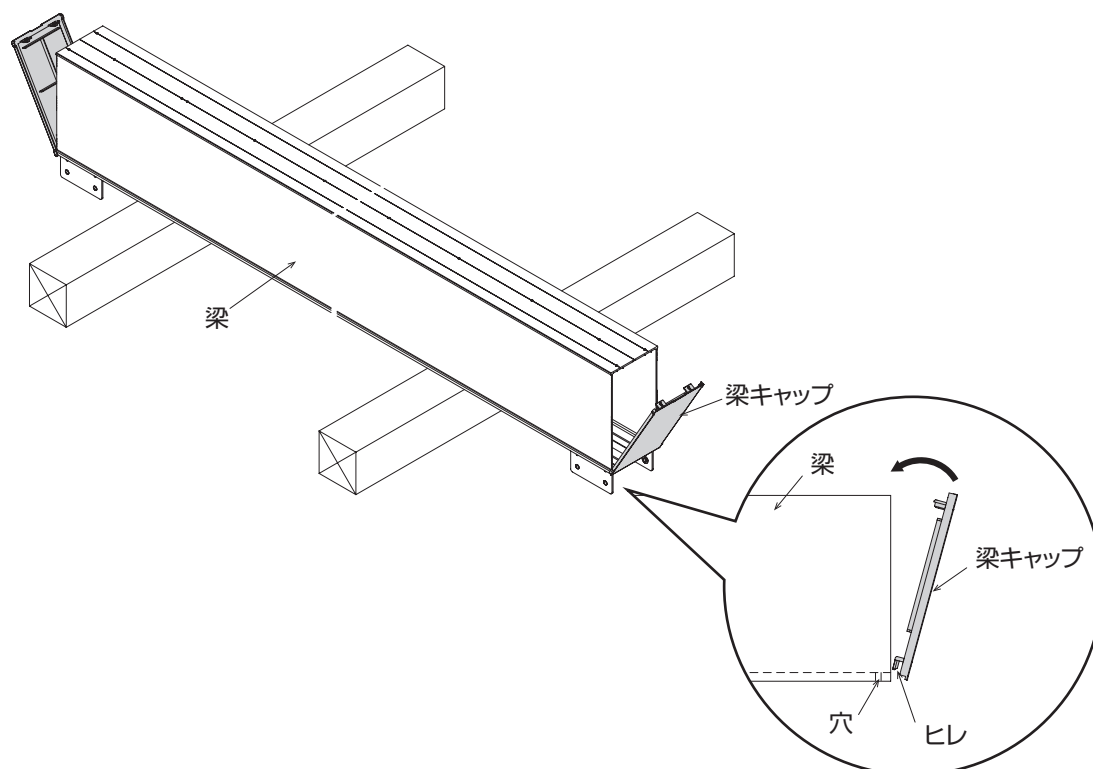


- 柱・梁連結ボルトは、梁端部と同一面にしてください。



2 梁キャップを梁に取り付けてください。

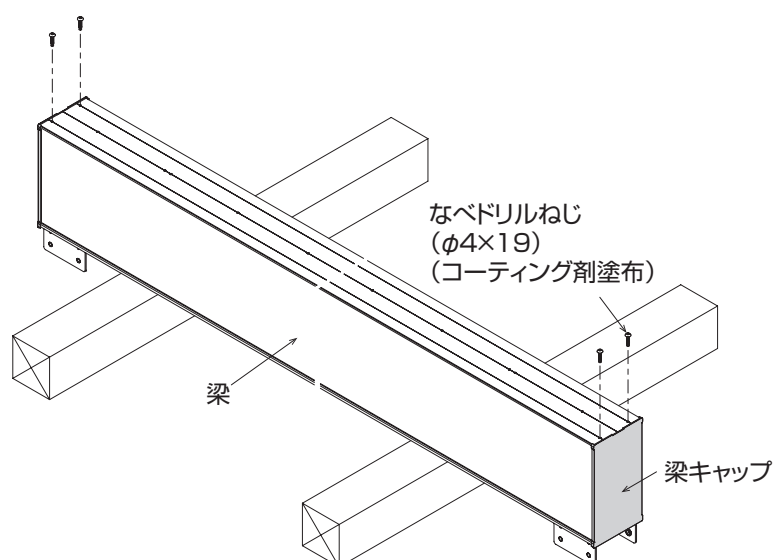
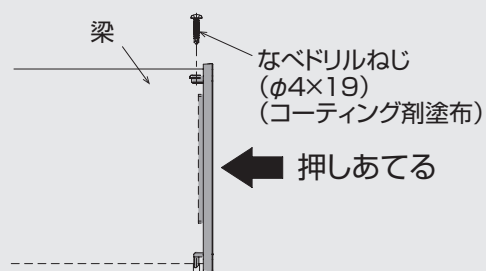
- ① 下部のヒレを梁の穴に挿入してください。
- ② 梁キャップを梁に押しあててください。



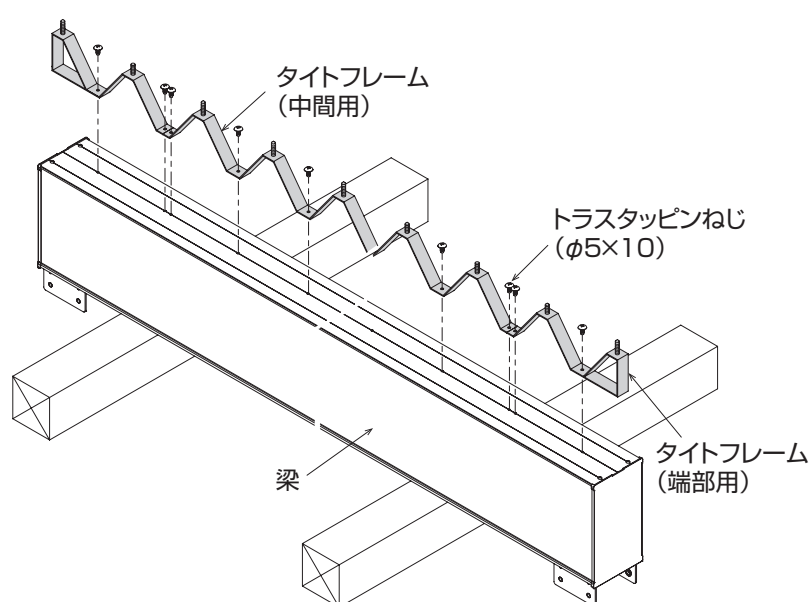
③ 梁キャップをねじで固定してください。



- すき間ができないように、梁キャップを梁に押しあてながら固定してください。

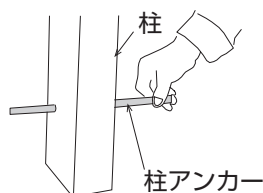


3 タイトフレーム（中間部/端部用）を梁に取り付けてください。

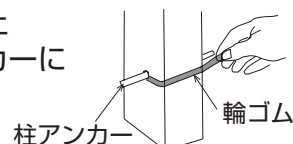


柱の施工

1 柱アンカーを柱に取り付けてください。



- 柱アンカーの脱落防止
例：輪ゴムを柱アンカーに
引っかける

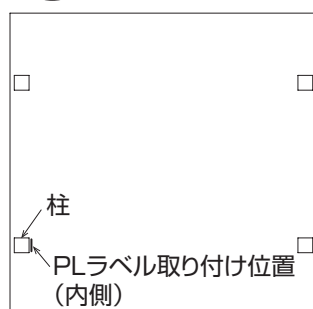


2 柱の向き（PLラベルの位置、梁・横材の連結位置）を確認してください。

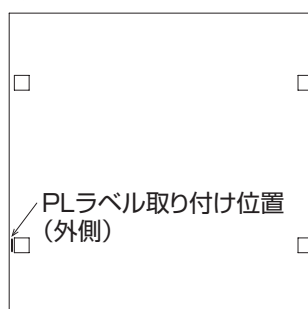
お願い

- PLラベルをカーポート本体の内側に配置してください。
外側に向けると側面パネルなどを取り付けの際に、PLラベルに記載されている内容が確認できなくなるおそれがあります。

●PLラベル

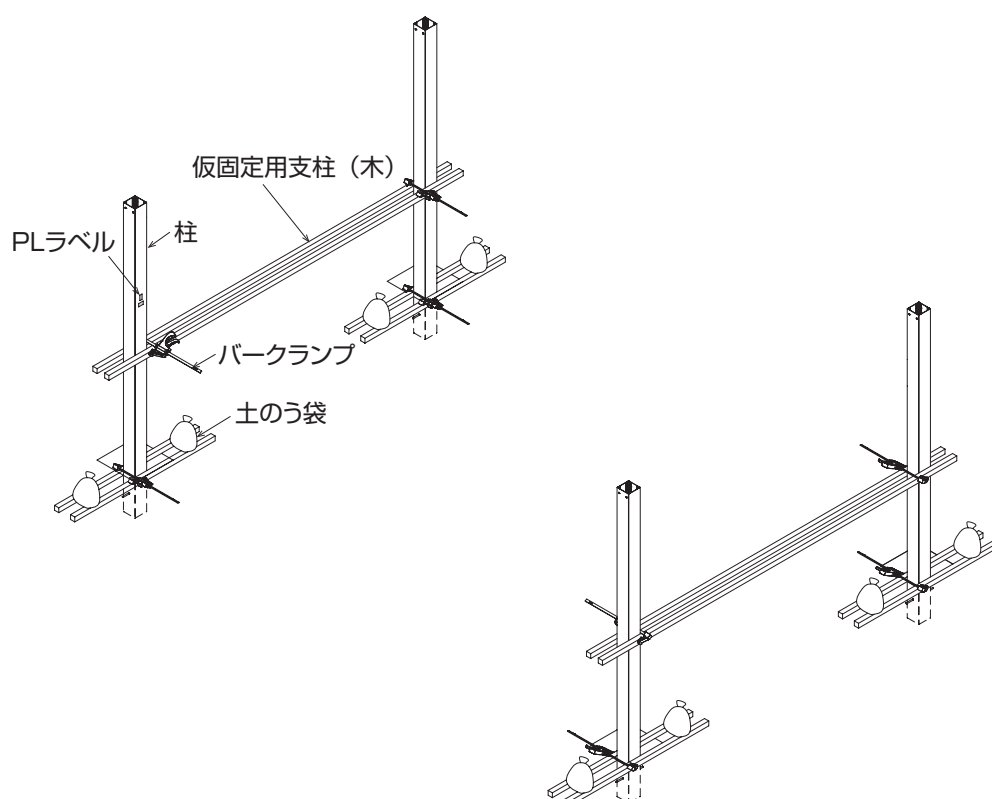


正面



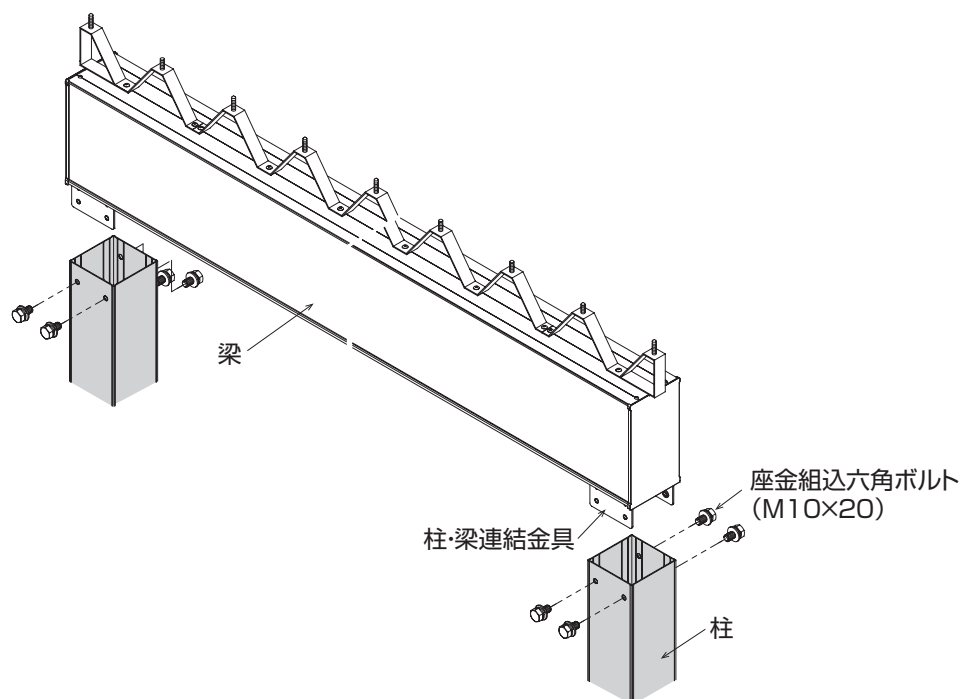
正面

3 土のう袋、木材などの固定具を利用して柱を仮固定してください。



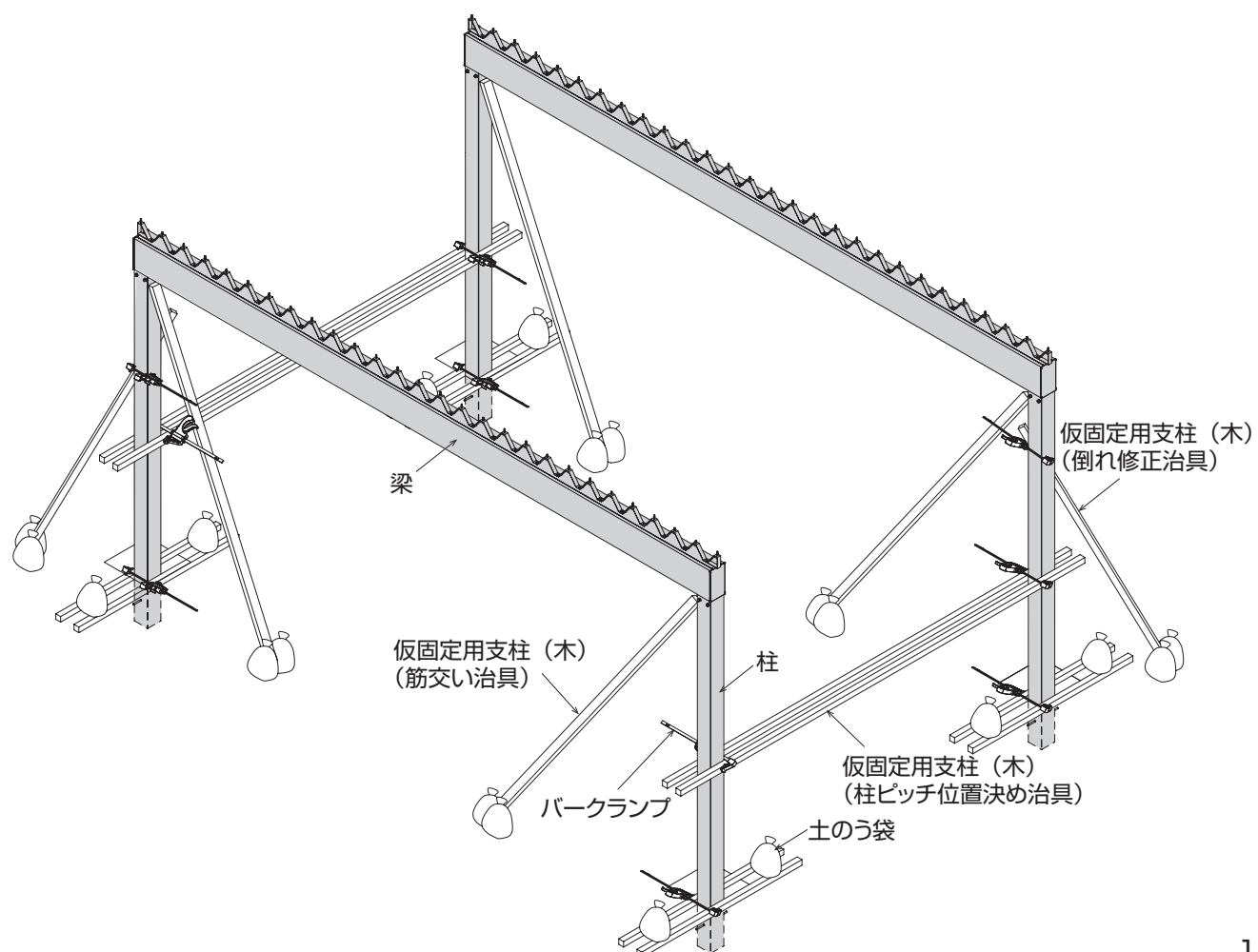
柱・梁の取り付け

- 1 柱・梁連結金具を柱に挿入し、梁を柱に固定してください。



柱の仮固定

- 1 柱・梁を仮固定してください。



基礎工事

⚠ 注意

- 基礎コンクリートやモルタルには、腐食性の強い塩素系混和剤(急結剤など)や強アルカリ系硬化促進剤、海砂などは使用しないでください。柱の異常腐食や、商品の破損につながるおそれがあります。
- 屋根ふき材の取り付けは、基礎コンクリートが確実に固まってから行ってください。コンクリートの強度が十分になるまで、過度の衝撃や荷重を与えないようにし、雨、霜、凍結、日光などに対してコンクリートを保護してください。(目安：4日～7日)基礎の強度低下につながるおそれがあります。
- 柱などを立ててからコンクリート詰めをしてください。コンクリートを入れたあとに柱を立てると、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。
- 指定位置に必ず水抜き穴をあけてください。穴がない場合、柱内部に水がたまり凍結破壊や異常腐食につながるおそれがあります。

お願い

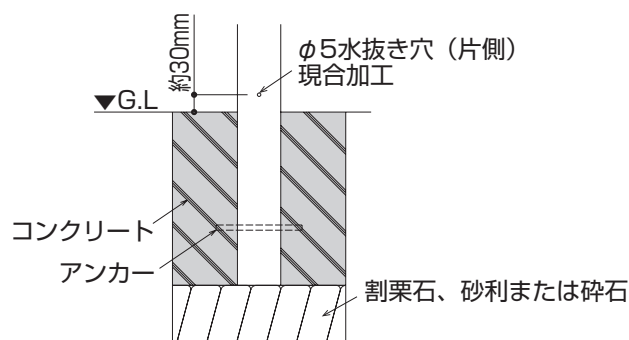
- モルタルやコンクリートなどが商品の表面に付着した場合は、速やかに拭き取ってください。外観不良(シミ・汚れ・つや落ち)につながるおそれがあります。
- 柱のレベル調整は、コンクリート・モルタルが固まる前に行ってください。固まった後の調整は、柱の強度が著しく低下するおそれがあります。

柱の水抜き穴加工

- 1 柱に水抜き穴をあけてください。



- 土間コンクリートを後から仕上げる場合は、水抜き穴は仕上げ面から30mmの位置になるように加工してください。



柱の寸法確認

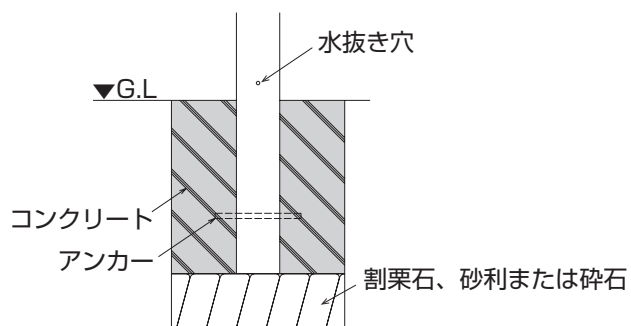
- 1 柱の位置を再確認してください。「寸法図(→P.30)参照」

基礎コンクリートの打ち込み

1 基礎穴に基礎コンクリートを打ち込んでください。

お願い

- コンクリートは十分に締め固めてください。
ジャンカや空隙などが発生し、コンクリートの品質が低下します。
- 柱の水抜き穴はコンクリートで塞がないでください。塞がった場合は、水抜き穴をあけてください。水が溜まり腐食の原因および思わぬ事故につながるおそれがあります。



屋根部の施工

折板の加工

1 折板に穴加工（φ12）してください。



- 柱移動をした場合は、穴位置を移動した柱にあわせて加工してください。
- 折板から切り粉を取り除いてください。サビの原因となります。
- 折板を重ねた状態で穴加工する場合（目安：5枚程度）は、端部をバークランプなどで固定し穴がずれないように加工してください。
- 側面から見た柱本数が2本の場合は、折板同士が重なりあう長尺方向の中央部にルーフボルト取り付けの穴加工（φ12）してください。



- ステップドリルを使用すると効率的に穴加工できます。

呼称奥行 L	折板長さ Lr	加工位置	
50	4958	外観左	φ12 ルーフボルト取り付け用穴(φ12) 978 3002 978
		中間	ルーフボルト取り付け用穴(φ12) φ12 ルーフボルト取り付け用穴(φ12) 978 3002 978
		外観右	ルーフボルト取り付け用穴(φ12) φ12 978 3002 978

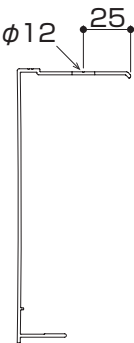


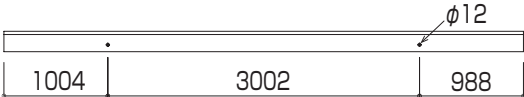
鼻隠し（側面）の加工

1 鼻隠しに穴加工（φ12）してください。



・加工内容は木調色も同じです。



奥行呼称	鼻隠し長さ	加工位置	
50	4994	水下側	水上側
			

鼻隠し（水下側）の部品付け

1 雨樋柵キャップのL、Rを確認してください。

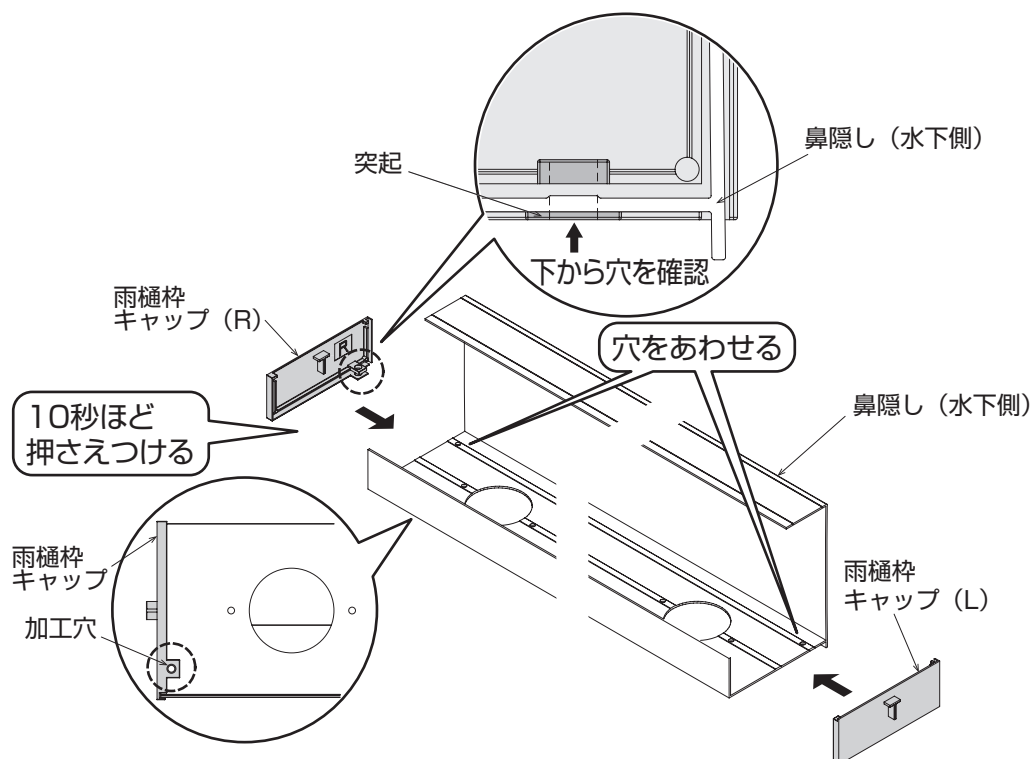
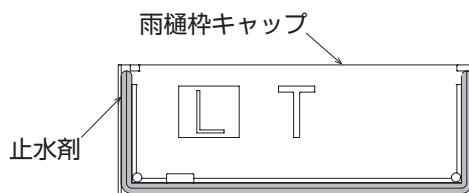


・雨樋柵キャップにはL、R（水下側から見て左、右）の刻印があります。

2 雨樋柵キャップの穴を鼻隠し（水下側）の加工穴にあわせて、断面に10秒ほど押さえつけてください。

お願い

- ・雨樋柵キャップの止水剤に触れないでください。
砂やほこり、油などを付着させないでください。
接着性能が低下し、漏水につながるおそれがあります。
- ・雨樋柵キャップの取り付け部は、しっかりと押さえつけ止水剤を確実に密着させてください。
接着不足の場合、漏水につながるおそれがあります。



3 止水剤に砂やほこり、油などが付着した場合
部品を取り付けなおす場合

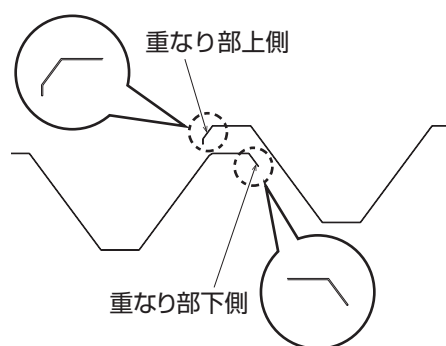
止水剤の上にシーリングして取り付けてください。

折板の取り付け

1 折板を梁に取り付けてください。

⚠ 注意

- 折板の取り付けには向きがありますので確認してください。
逆向きに取り付けると雨漏りの原因となります。



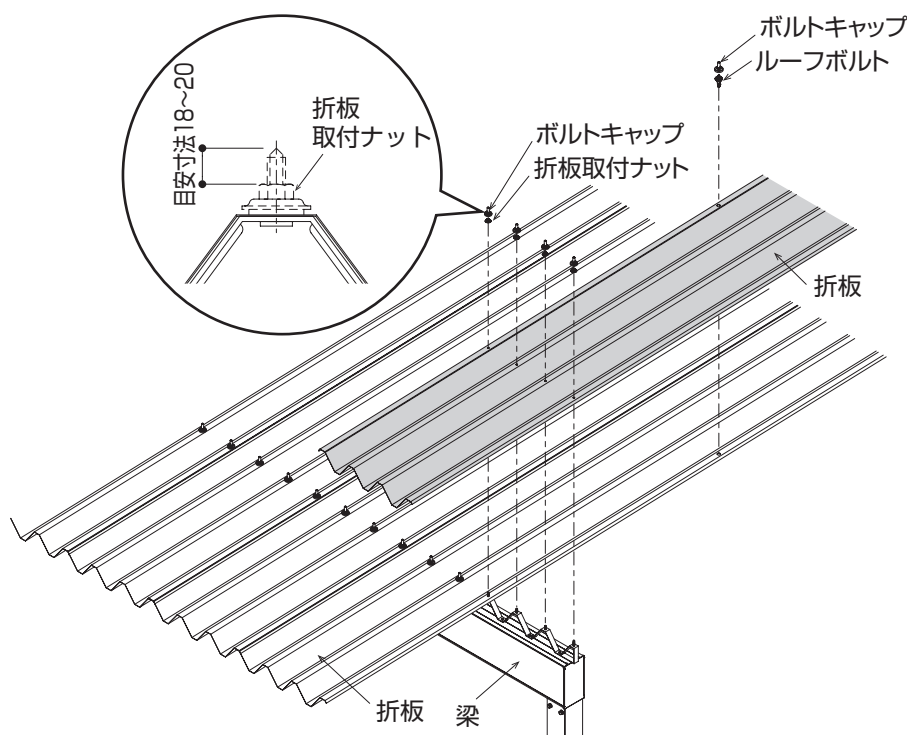
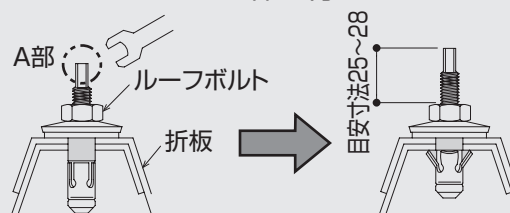
2 折板を折板取付ナットで固定し、ボルトキャップをたたき込んでください。

3 側面から見た柱本数が2本の場合

折板をルーフボルトで固定し、ボルトキャップをたたき込んでください。



- ルーフボルトを取り付ける際は、下から折板を持ち上げてください。
- A部をスパナなどで固定しながらボルトを締め付けてください。



4 屋根勾配が推奨値より緩くなった場合

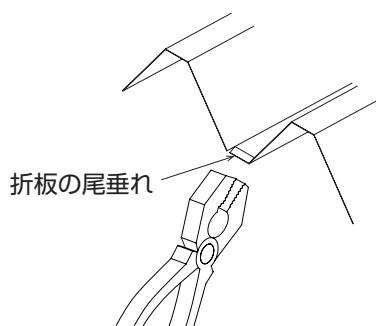
水下側の折板の軒先に、軒先尾垂れを加工してください。

⚠ 注意

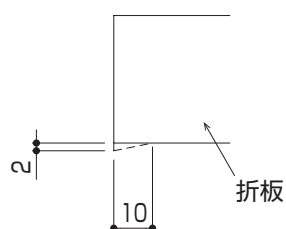
- 軒先尾垂れを加工してください。
折板の下面に水がまわり込んでくるおそれがあります。



- 折板にキズをつけないように、布をはさんで折り曲げてください。



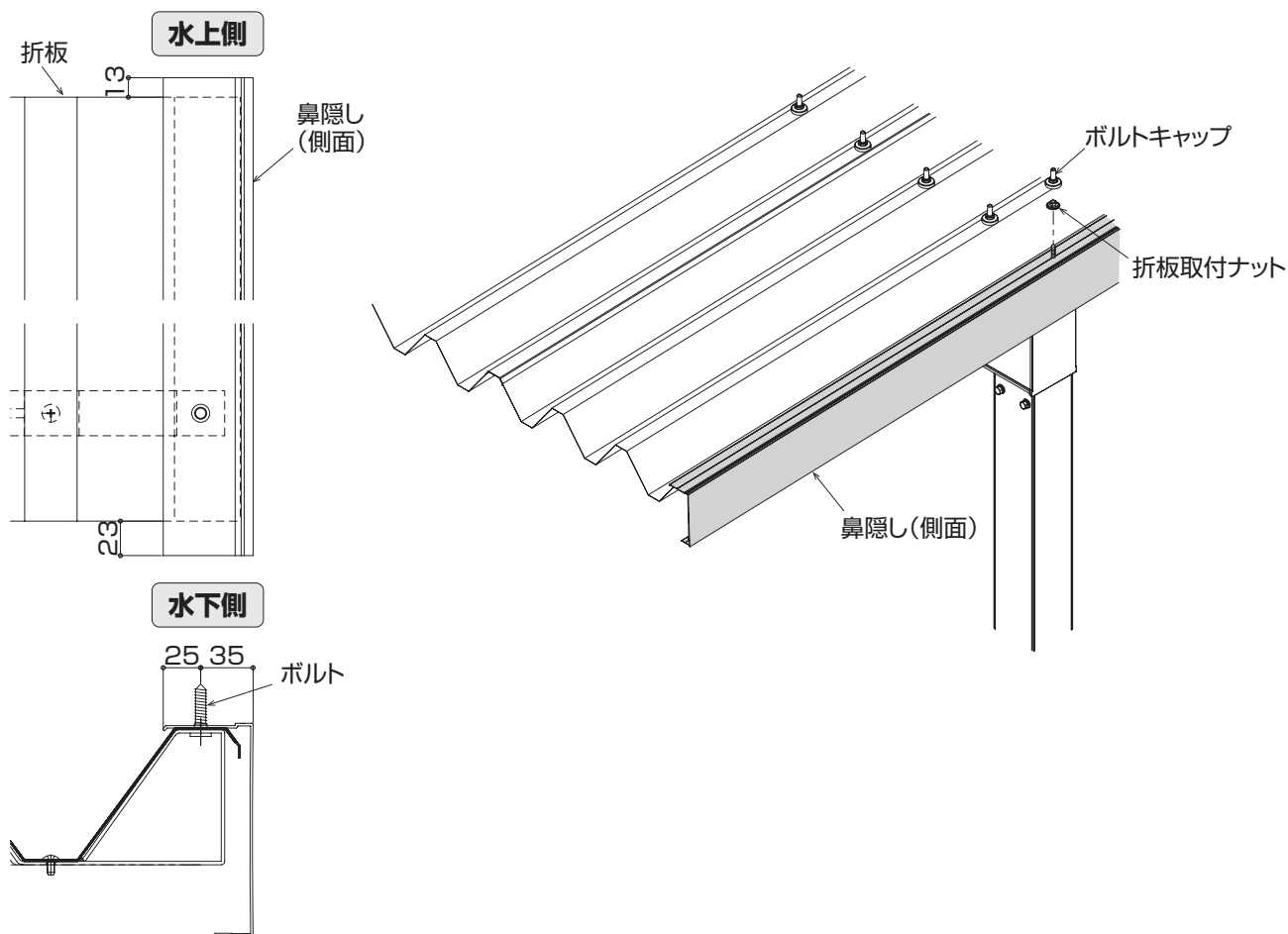
■ 折板断面



鼻隠し（側面）の取り付け

改訂

- 1 折板端部から鼻隠し（側面）端部とボルトから鼻隠し（側面）の寸法を確認してください。
- 2 鼻隠し（側面）を折板取付ナットで固定し、木づちなどでボルトキャップをたたき込んでください。



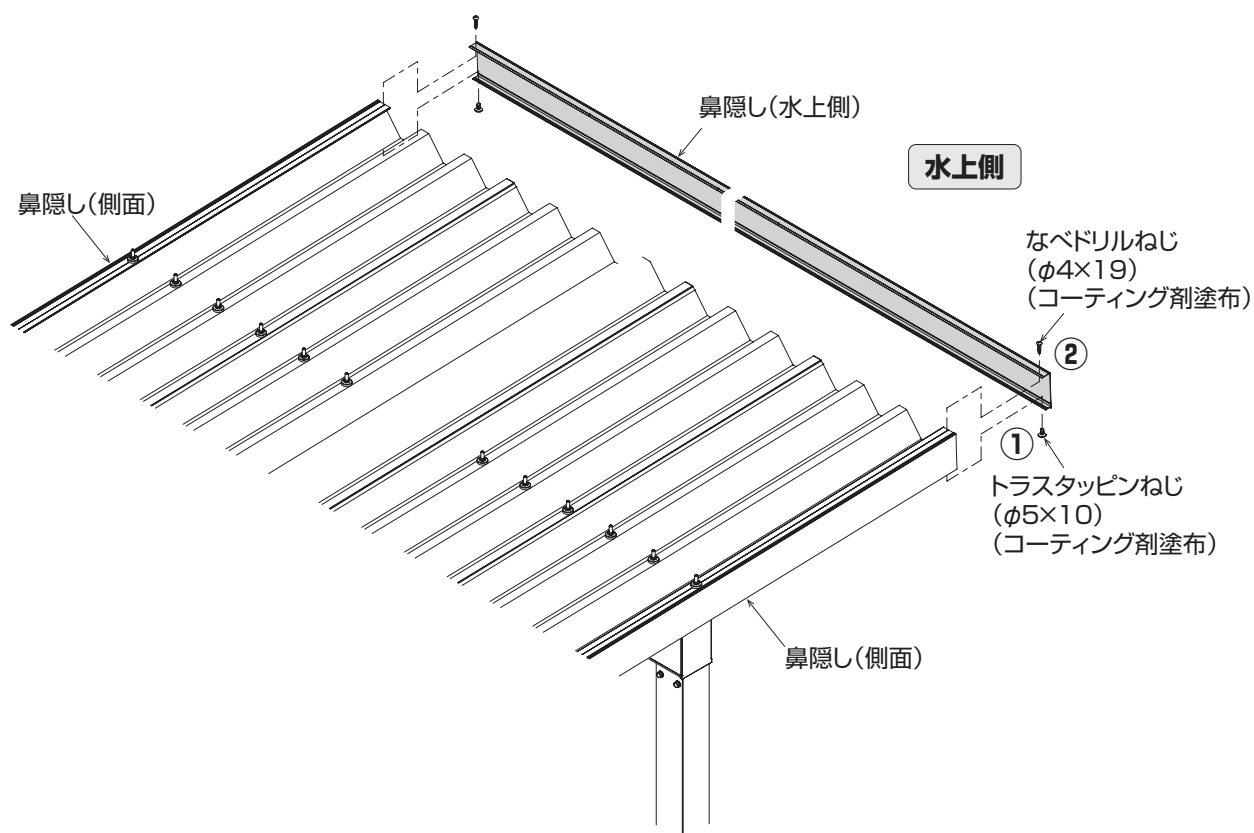
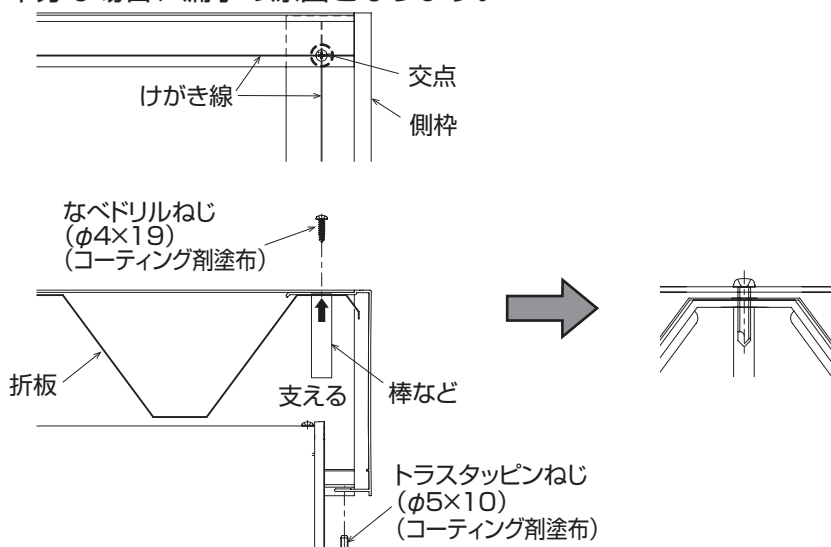
鼻隠し（水上側）の取り付け

- 1 鼻隠し（水上側）を折板と鼻隠し（側面）にかぶせてください。
- 2 鼻隠し（水上側）を下面→上面の順に固定してください。

お願い

- ねじ固定位置は鼻隠しのけがき線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。

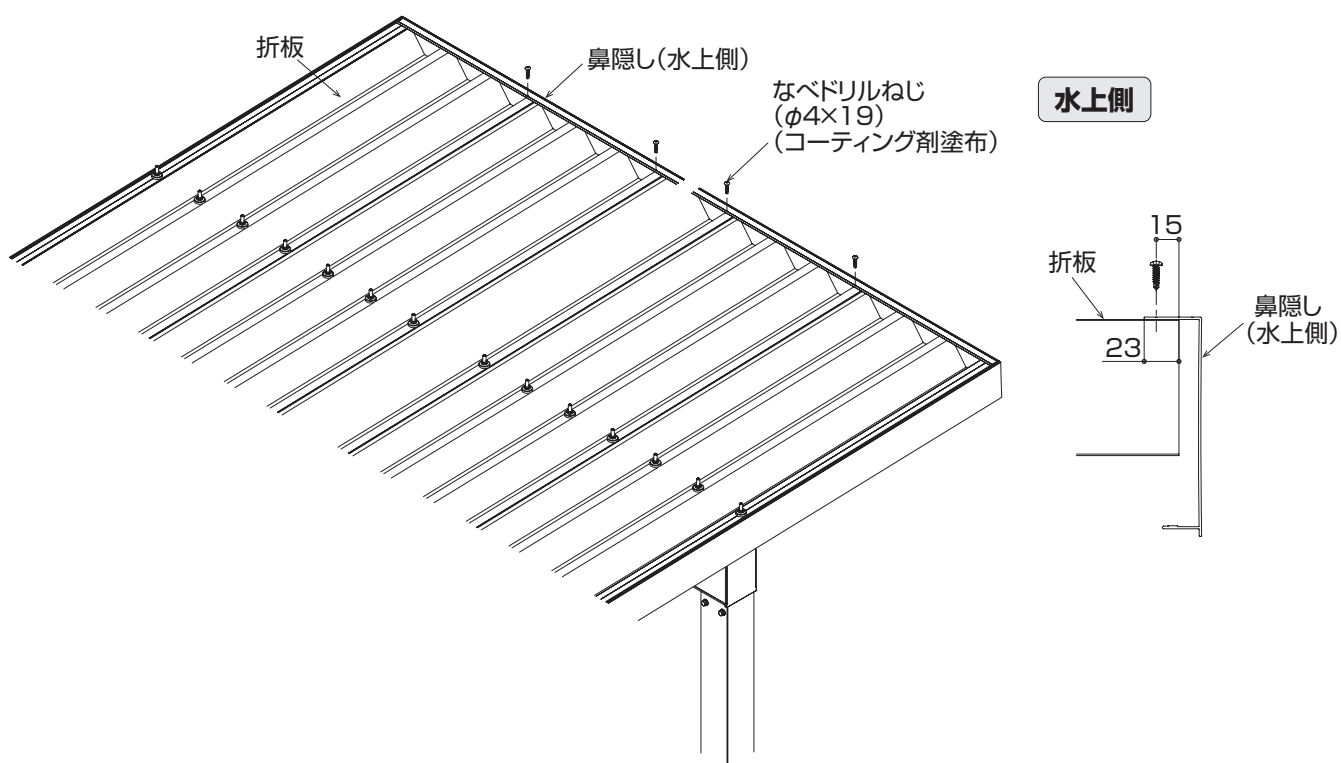
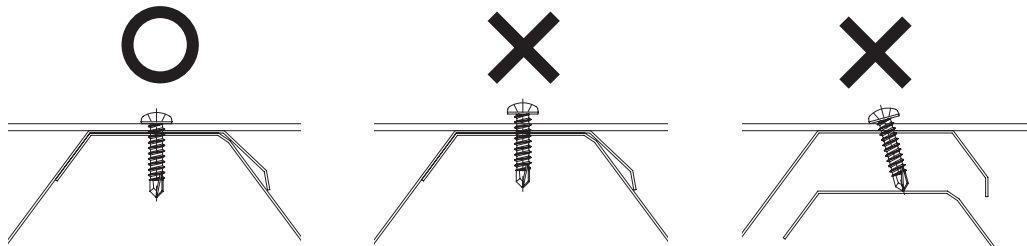
取り付けが不十分な場合、漏水の原因となります。



3 鼻隠し(水上側)の穴にあわせ、現合で折板に固定してください。

お願い

- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。

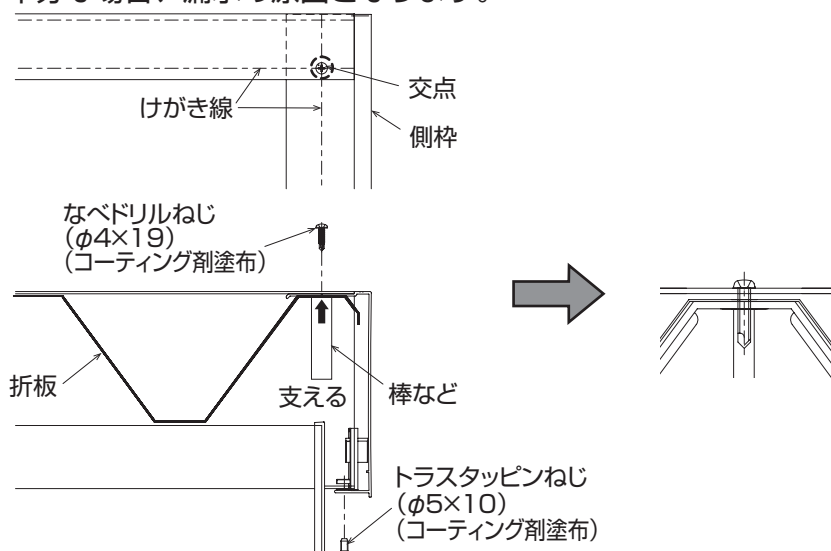


鼻隠し（水下側）の取り付け

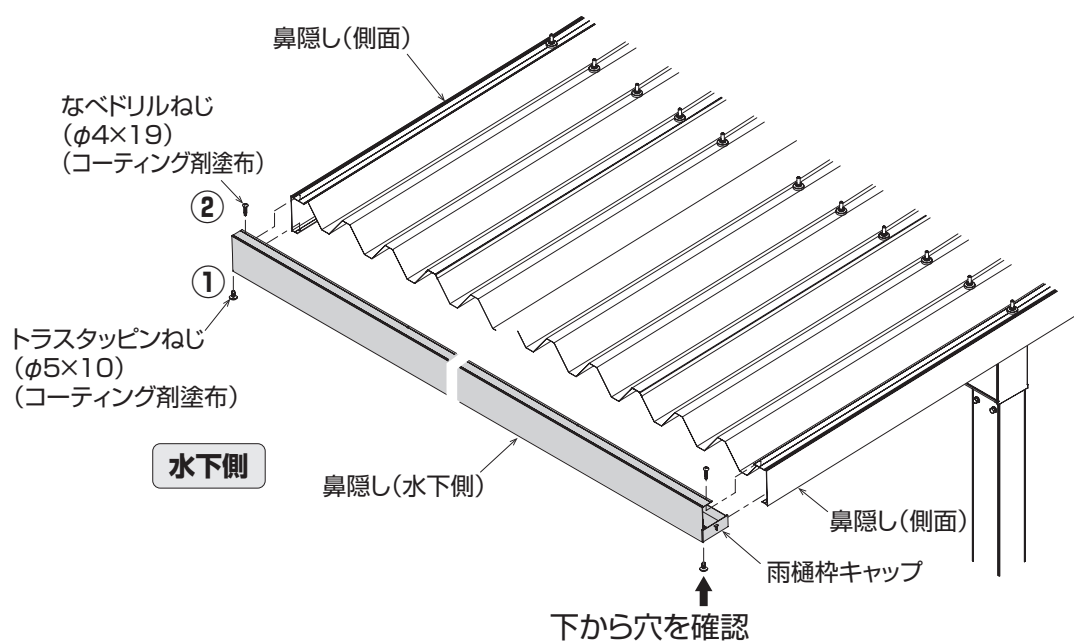
- 1 鼻隠し（水下側）を折板と鼻隠し（側面）にかぶせてください。
- 2 鼻隠し（側面）と鼻隠し（水下側）の加工穴があっていることを下から確認してください。
- 3 鼻隠し（水下側）を下面→上面の順に固定してください。

お願い

- ねじ固定位置は鼻隠しのけがき線交点です。下から折板を支えながらねじを折板まで貫通させてください。
取り付けが不十分な場合、漏水の原因となります。



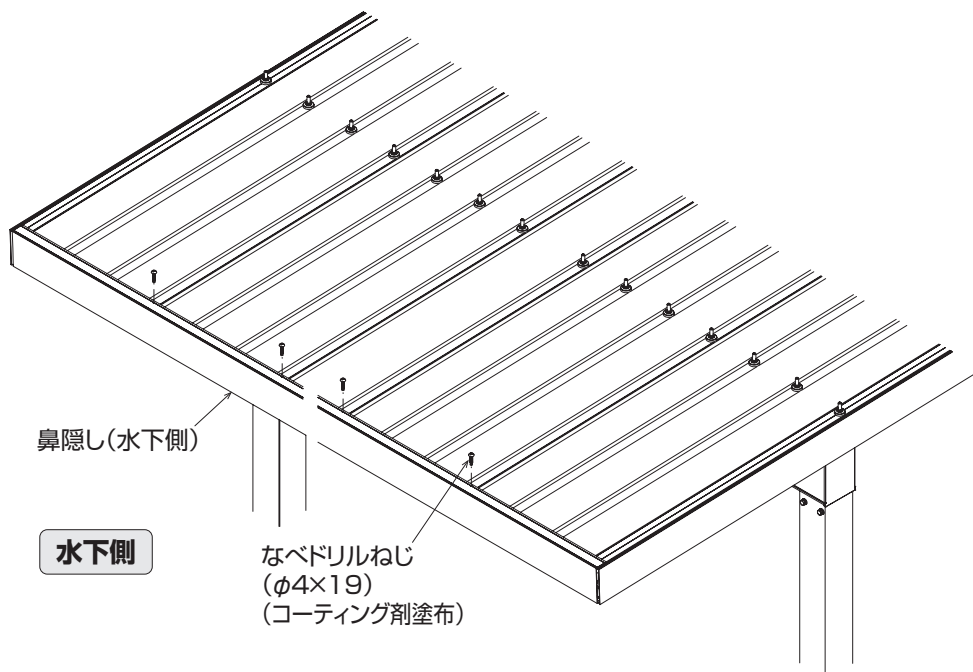
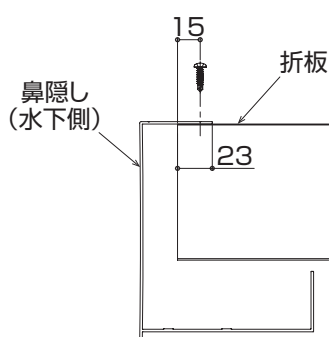
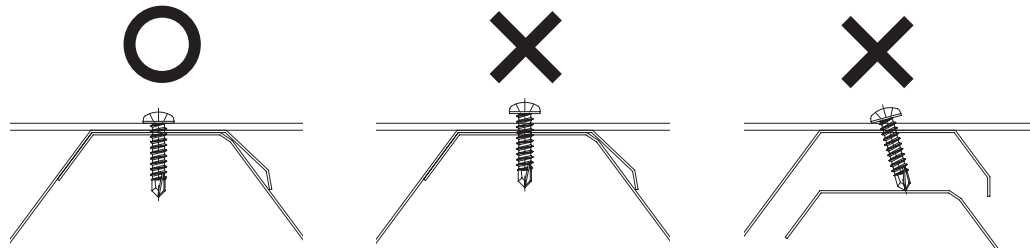
- 雨樋枠キャップと鼻隠し（側面）、鼻隠し（水下側）と折板がぶつからないように差し込んでください。



4 鼻隠し(水下側)の穴にあわせ、現合で折板に固定してください。

お願い

- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



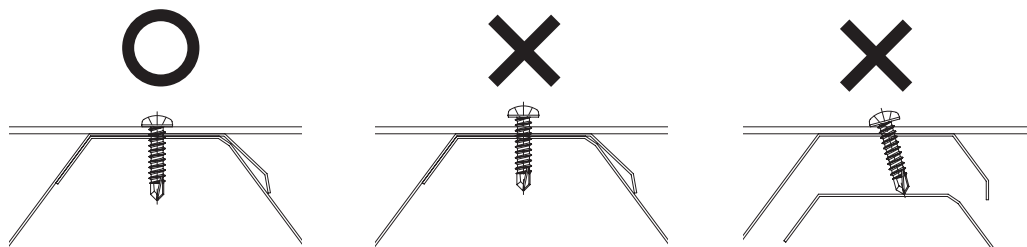


鼻隠し（側面）の固定

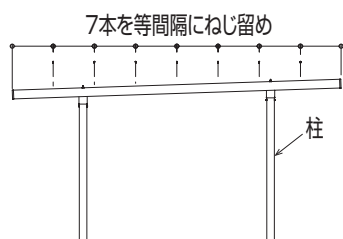
1 鼻隠し（側面）を現合で折板に固定してください。

お願い

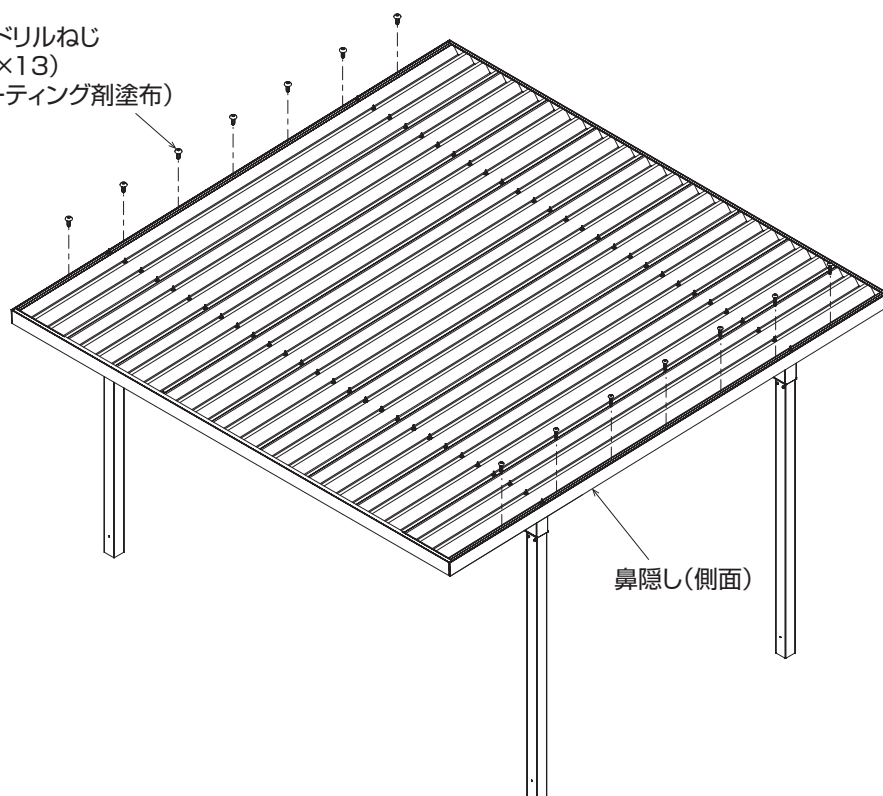
- 屋根材の取付ねじは、取り付け面に対して垂直に取り付けてください。
ねじの浮き、締め込み不足および斜めの取り付けは雨漏りの原因となります。



■ ねじ留め位置

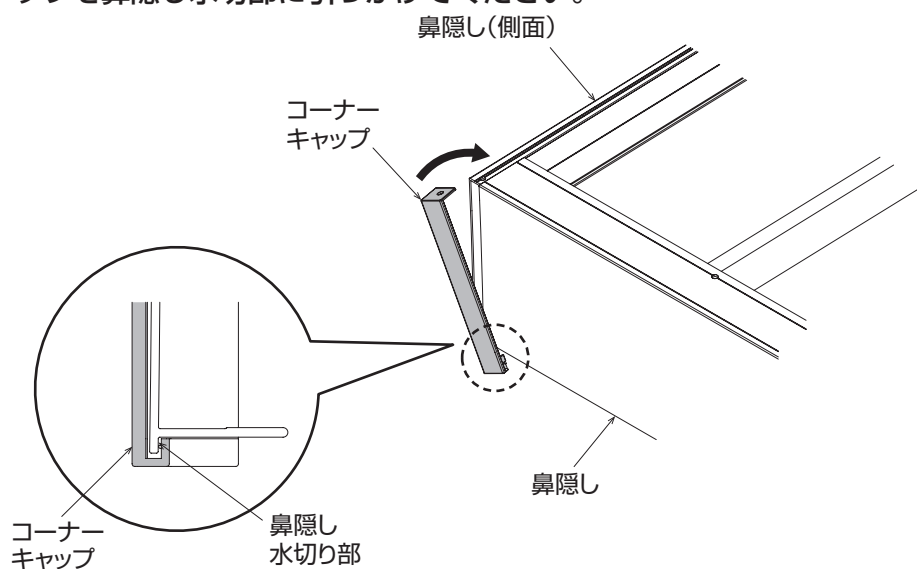


なべドリルねじ
($\phi 4 \times 13$)
(コーティング剤塗布)

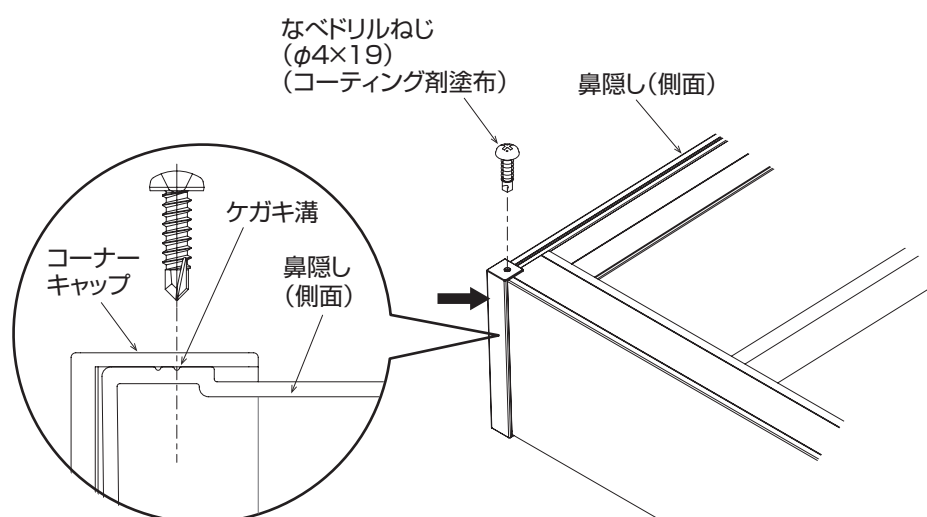


コーナーキャップの取り付け

1 コーナーキャップを鼻隠し水切り部に引っかけてください。



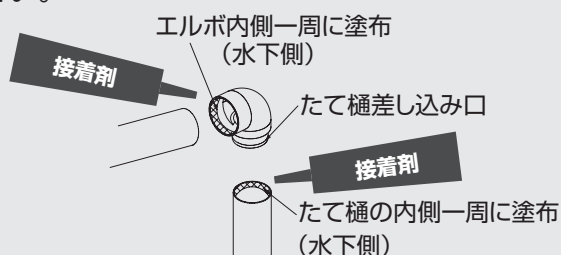
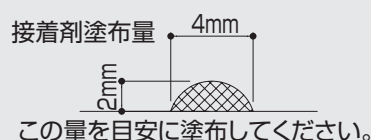
2 コーナーキャップを押さえつけながら鼻隠しに固定してください。



雨樋の施工



- 雨樋部品からの水漏れ防止のため、下記の要領で接着剤を塗布してください。
必ず商品に同梱の接着剤をご使用ください。

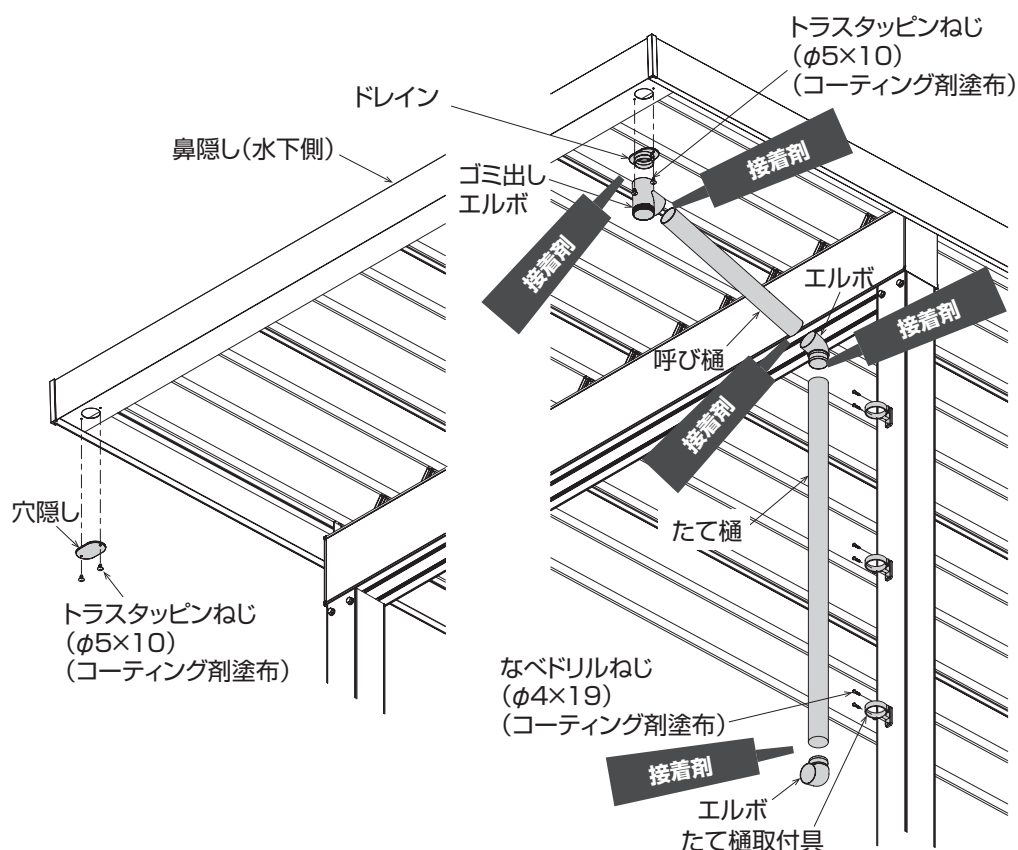


- 1 たて樋取付具を柱に取り付けてください。
- 2 呼び樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
- 3 ドレインを鼻隠し(水下側)に取り付けてください。
- 4 ゴミ出しエルボをドレインに挿入してください。
- 5 呼び樋をゴミ出しエルボに挿入してください。
- 6 エルボを呼び樋に挿入してください。
- 7 たて樋を取り付け長さにあわせて切断してください。
- 8 たて樋をエルボに挿入してください。
- 9 エルボをたて樋に挿入してください。
- 10 たて樋をたて樋取付具に取り付けてください。
- 11 穴隠しを鼻隠し(水下側)に取り付けてください。

■呼び樋長さ

側面から見た 柱本数	奥行呼称
	50
2	756

・切り詰めや柱移動をした場合は、調整してください。

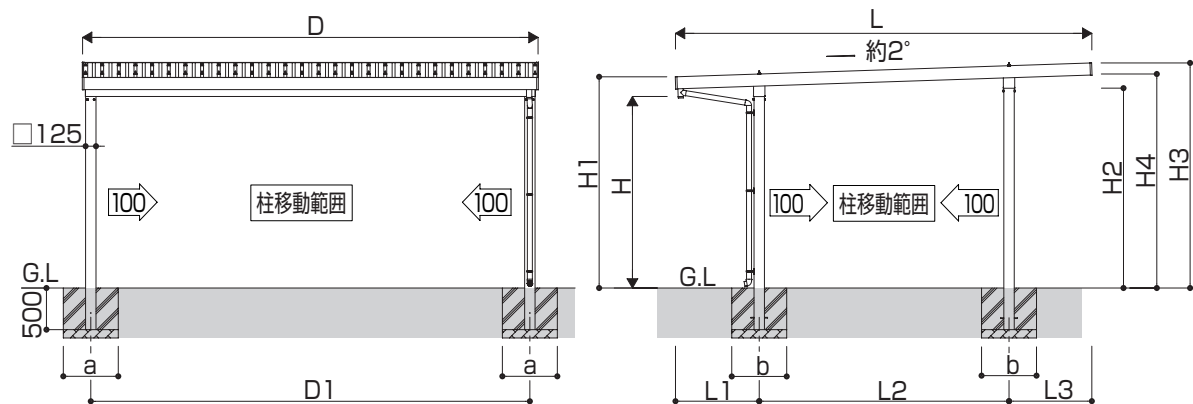


寸法図

改訂

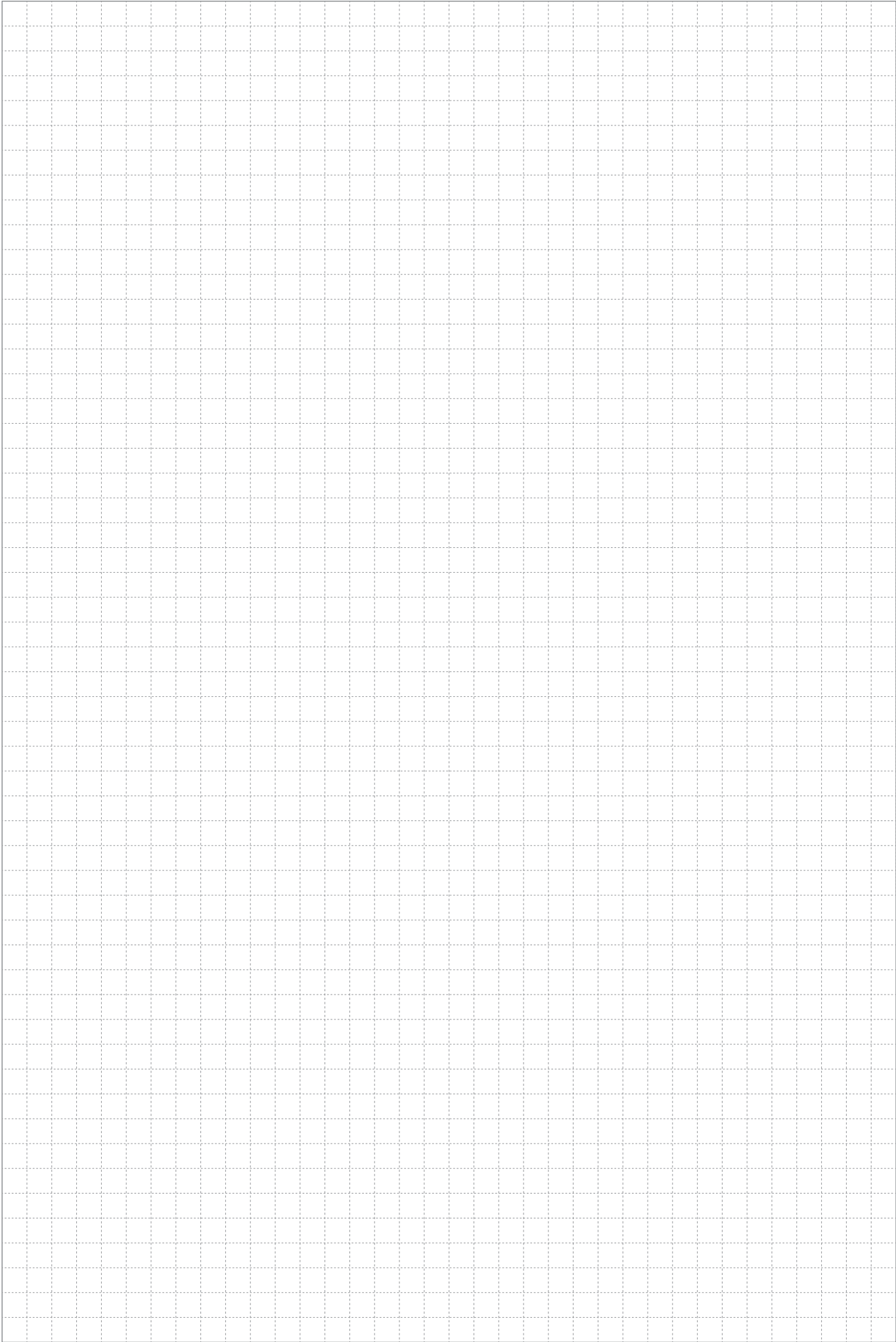
寸法図

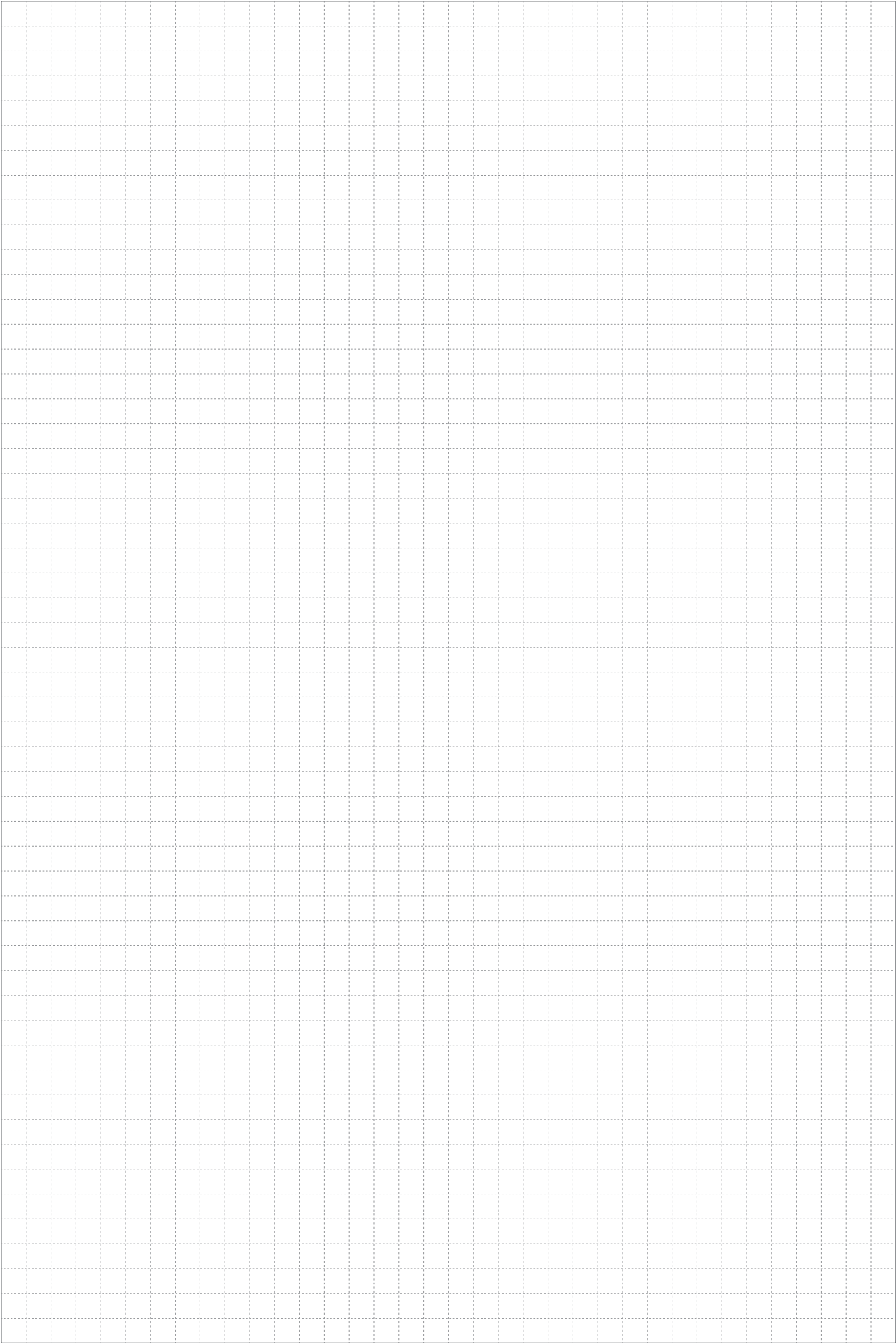
■ 50cm (1500) タイプ

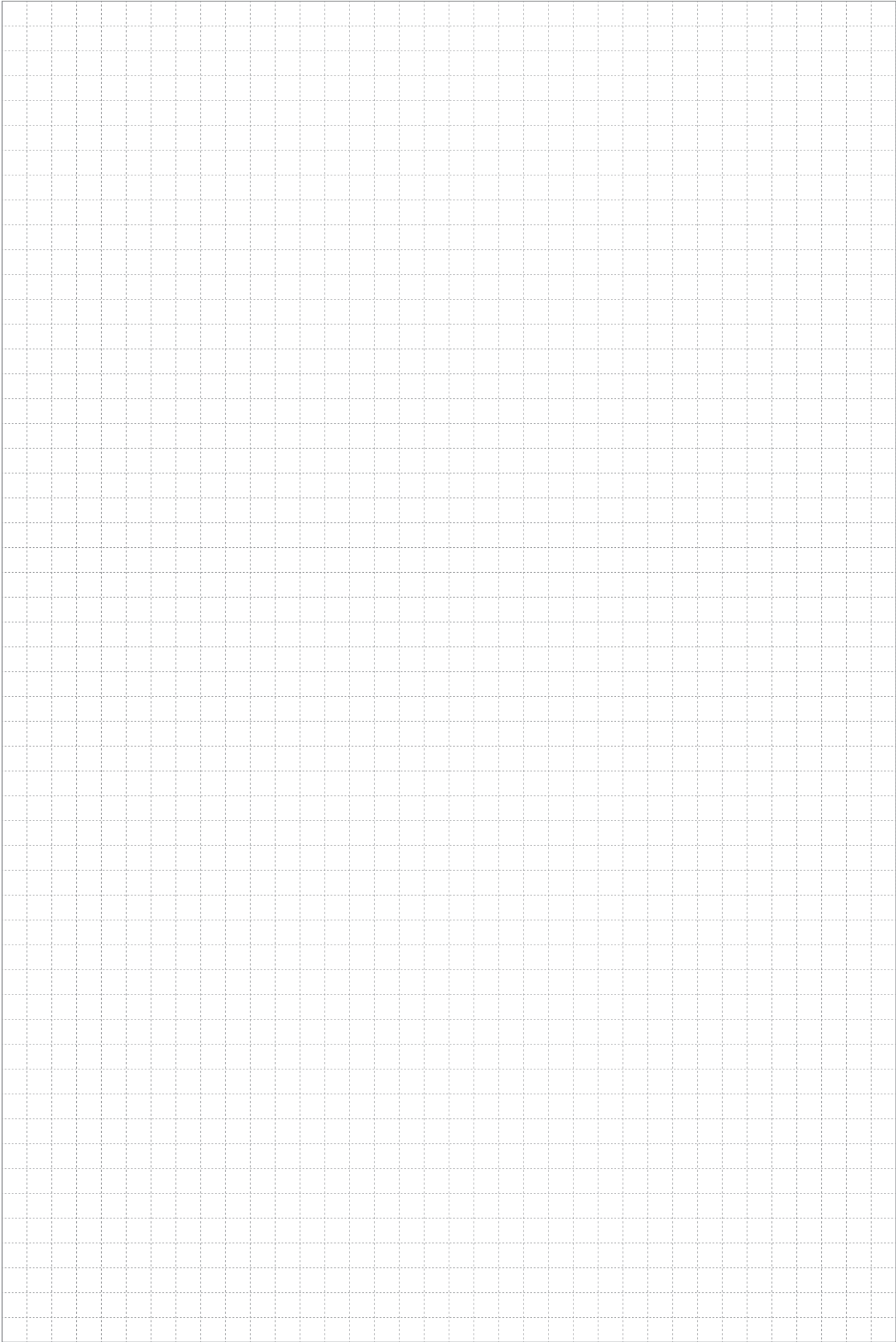


間口呼称	奥行呼称	高さ呼称	D	D1	L	L1	L2	L3	H	H1	H2	H3	H4
48	50	23	4870	4673	5000	1006	3000	994	2300	2536	2400	2703	2570
55			5470	5273									
60			6070	5873									

• H=2500(H=3000)の場合、H1、H2、H3、H4に200(700)足した寸法にしてください。







[illegible]

ホームページ <https://daisen-exterior.jp/>